

# 第3回 新庁舎建設アドバイザー会議ニュース

## 《新庁舎建設アドバイザー会議とは》

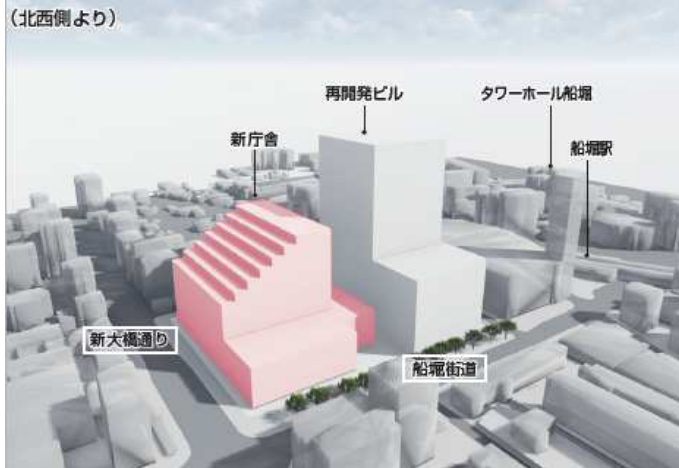
(2022.3.23 開催)

新庁舎建設アドバイザー会議は、令和2年度末に策定した「新庁舎建設基本構想・基本計画」を、新庁舎の設計に反映するため、「新庁舎建設基本構想・基本計画策定委員会」の委員であった学識経験者等で構成された会議体です。新庁舎の設計過程へのアドバイスを目的としています。令和3年度に開催した第1回、第2回は、基本設計方針策定業務委託の受託事業者選定を行いました。

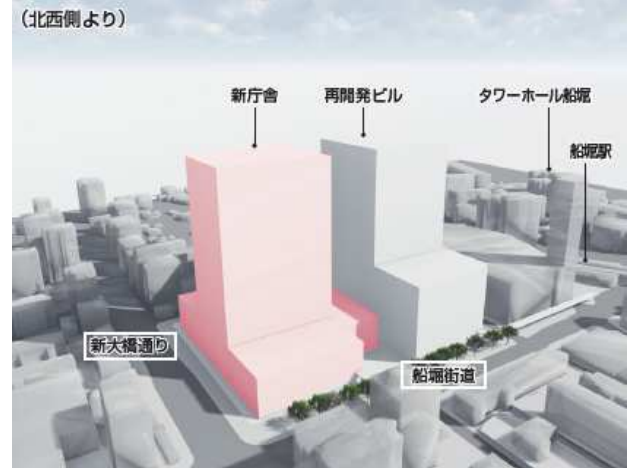
## 《第3回の開催》

「基本構想・基本計画」による計画条件や、各種規制等を踏まえて、新庁舎の建物としての形状を2案検討し、12の視点から、2案の分析・評価を実施しました。

### A案(13階程度)



### B案(20階程度)



## 2案の分析・評価の12の視点

耐震性能	浸水対策	災害対応	外形	交流空間	窓口機能
執務環境	議会機能	緑空間	省エネ性能	コスト	可変性

### B案の形状の特性として

地下空間が最小限  
ヘリポートの設置が可能  
地下工事の規模が小さく、工事費が少ない。  
用途変更しやすい

### 委員からの主な意見

形状による特性は大きな要素で理解できる。今後は、タワーホール船堀、再開発ビルとのデザイン等の統一と関係性が重要。この内容は特に住民に丁寧に説明し、さらに将来世代の意見等をもらえる機会を設けることが望ましい。今後の設計で改善できる点も多いと思うので、今後も検証を重ね、より良い建物を目指してほしい。

今後の新庁舎計画の検討は、  
B案の形状に一本化するという結論になりました。



新庁舎建設に向けたご意見を募集しています。詳しくは区ホームページ(左の二次元コード)をご覧ください。

発行：新庁舎・施設整備部新庁舎整備課  
電話：03-5662-2605